

令和5年度第1回庄原市特別支援教育研修会

令和5年5月26日(金) 庄原市田園文化センター 2階多目的ホール

特別な支援を必要とする児童生徒の適正な就学指導及び特別支援学級における適正な教育課程編成と教科用図書選定について周知することを目的に、研修会を行いました。

【講話】「特別な支援を必要とする児童生徒の適正な就学指導について」

庄原市教育委員会 教育指導課 学事係長兼主任管理主事 伊澤 知弥



- ◆ 幼保小中学校間で就学に関する連携が一層進むよう、特別な支援を必要とする児童生徒の適正な就学指導に関する講話を行った。
- ・ 就学指導に関しては、保護者、学校間、関係機関等との計画的な連携が必要である。特に、保護者へは、学期末の懇談の時のみでなく、日頃から定期的に学校の実情を情報提供していくことが大切である。継続的な教育相談を行い、「個別の教育支援計画」「個別の指導計画」等は定期的な見直しを行う必要がある。

【講話・演習】「特別支援学級の教育課程の編成について」

庄原市教育委員会 教育指導課 指導主事 片山 博子



- ◆ 特別支援学級において、当該児童生徒の障害の状況及び発達段階に応じた教育課程を編成する際の留意事項等について周知・理解を図るため、講話・演習を行った。
- ・ 児童生徒の実態に応じた、適切な指導が行われるよう、指導内容や時数、指導形態等に留意する。教科等を合わせた指導(生活単元学習、作業学習等)の内容や交流のもち方・時数には、特に留意する必要がある。

【講話・協議】「特別支援学級で使用する教科用図書の選定について」

庄原市教育委員会 教育指導課 指導主事 福田 和宏



- ◆ 特別支援学級で使用する教科用図書選定や事務手続きに係る留意事項等についての講話と、各校が使用している教科用図書について、実際の本を提示しながらグループ交流を行った。
- ・ 児童生徒の実態や教育課程と整合性のとれた教科書を適切に選定する必要がある。
- ・ 交流の中で、他校で使用する教科用図書(一般図書)の活用等を知ることにより、自校の教科用図書選定の参考にする。

【参加者の振り返りより】

- 早期に就学指導を行うことの大切さ、保護者との連携が必要不可欠であること等を再確認できた。関係機関と情報共有を行い、児童生徒のために適切な就学指導を行えるように考えていきたい。
- 就学指導においては、保小連携、小中連携を密に行い、丁寧に進めていくことが大切であると感じた。
- 教育課程を編成する際の留意事項について、まずは児童生徒の実態把握(アセスメント)を行うことの大切さについて改めて気付いた。自校でも適切な内容になっているか、見直していきたい。
- 他校の一般図書の紹介が大変興味深く、参考となったため、自校でも一般図書を選定する時の参考としたい。